

**授業概要**

社会とは、さまざまな社会関係が絡み合う複雑な塊である。この社会学Ⅱでは、社会学Ⅰで学んだような個々の社会関係が、相互にどう影響しあって全体社会を構成しているかについて講義する。家族、職場、学校や地域と関わりながら生きる現代人が、これら複数の社会領域の要求に応えるためにいかに奮闘しているのか、またそうする上でどんな困難や問題を抱えているのかを、具体的な事例を見ながら考える。また、それらの問題が現在、社会的にどう解決されようとしているかについても触れ、現代の日本社会とその中に生きる私たち一人ひとりの可能性について考える。なお、この授業は社会学の応用編と位置付けられるが、社会学Ⅰを受講していなくても十分理解できる内容である。

**授業計画**

第 1 回	全体社会を見る切り口としての労働
第 2 回	日本的組織の特徴と近年の変化
第 3 回	男性・正社員の労働とその問題点——働き過ぎ
第 4 回	女性の労働とその問題点——家庭内労働と雇用労働の両立困難
第 5 回	女性の就労支援策とその国際比較
第 6 回	非正規労働とその問題点——不安定就労
第 7 回	働きやすい社会へ向けての取り組み
第 8 回	「私らしさ」とは何か——役割演技と自己形成のしくみ
第 9 回	「男性/女性としての私」をつくるしくみ
第 10 回	多元的価値を育む社会へ
第 11 回	ラベリングとネガティブな役割の引き受け
第 12 回	「障害者としての私」をつくるしくみ
第 13 回	バリアフリー社会への変容
第 14 回	全体社会の構造を展望する——格差社会としての現代日本
第 15 回	全体のまとめ
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- ・現代日本社会で起きている諸現象や、いま社会問題となっている事柄についての基本的な知識を持つことができる。
- ・学んだことについて自分なりに整理して意見を述べられるだけの、考察力を身につけることができる。

**履修上の注意**

この授業は特定のテキストを用いるものではないので、毎回の授業をきちんと聞くことが不可欠である。積極的に出席し、学んだことをもとに社会現象について考えていこうとする、意欲的な態度での受講を期待する。

**予習・復習**

授業で紹介する参考文献やインターネット等を利用した自主的学習のほかに、授業で扱ったテーマに関連する社会観察や考察の課題を出す。その結果は、授業内の小レポート等で報告してもらうことがある。

**評価方法**

学期末試験（80%）。授業内に書く小レポート（20%）。

**テキスト**

- ・教科書名：
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年（ISBN）：